

JISART 会員及び会務運営規程

第1条（目的）

本規程は、一般社団法人 JISART（通称；日本生殖医療標準化機関と称する。英語名は、Japanese Institution for Standardization of Assisted Reproductive Technology）の会員に関する事項及びその会務運営に関する事項を定めることを目的とする。

第2条（社員会員）

社員会員は生殖補助医療施設の長で、本会の趣旨に賛同し、その実現に努力できる者とする。

JISART 定款 4 条 1 項 1 号に定める社員会員は、次の権利を有する。

1. JISART 認定審査を受けること。
2. JISART が主催する定期会合、シンポジウム、会員施設のスタッフ教育に参加すること。
3. JISART が発行する機関誌に投稿すること。また、機関誌および資料などの印刷物あるいは電子データの配布を受けること。
4. JISART 倫理委員会に研究計画書を提出し、その審査を受けること。
5. 社員総会に出席し、議決すること。

第3条（賛助会員）

JISART 定款 4 条 1 項 2 号に定める賛助会員は、JISART の趣旨に賛同し、その事業に財政的援助を与える個人または団体とする。理事会は、必要に応じて賛助会員を推戴することができる。

第4条（名誉会員）

理事会は必要に応じて、JISART 定款 4 条 1 項 3 号に定める名誉会員を推戴することができる。

第5条（名誉理事）

理事会は、JISART の運営に多大な功績のあった元理事を名誉理事に推載することができる。名誉理事は理事会、総会に出席し意見を述べることができる。但し、理事としての議決権は有さない。

第6条（入退会）

1. JISART への入会を希望する者は、JISART 所定の入会申請書類に会員 3 名の推薦署名を添えて事務局へ提出しなくてはならない。理事会で審議し、出席理事の過半数をもって入会の可否を決定する。この結果は速やかに入会希望者に通知するとともに、新規の入会者があった場合は、理事長は社員総会において報告する。尚、新規入会施設は JISART 施設認定審査を 1 年以内に受けるものとし、認定審査により不適格とされた場合には退会もあり得る。
2. 会員が入会時に提出した事項のうち、会員代表者名（施設長名）を変更する場合は、別に定める変更届に施設長の経歴、臨床経験、論文・学会発表等の実績等を添えて、理事長に提出しなければならない。
3. JISART を退会しようとする者は、文書によりその旨を事務局に申し出て、理事会の承認を経て、当該年度末をもって退会となる。なお、所定の会費を 1 年以上納入しない者は理事会の決議を経て退会とすることができる。
4. 会員が本会の規約に背く行為、その他本会に著しい迷惑を及ぼす行為をなしたときには、理事会及び総会の決議を経て除名することができる。

第7条（役員）

JISART は、定款 3 条所定の事業を遂行するために以下の役員をおく。役員任期は 2 年とし重任を妨げない。ただし、理事長及び副理事長の任期は連続 3 期 6 年を越えることができない。

1. 理事 11 名
社員総会の決議により選任される。理事会内部において分担する会務については、別に理事会において定める。
2. 理事長（代表理事） 1 名
理事会の決議により理事の中から選任される。JISART の会長として本会を代表する。

3. 副理事長 2名

理事長が理事の中から推薦し、理事会の承認決議を経ることにより選任される。理事長を補佐する。

4. 監事 2名

社員総会の決議により選任される。JISARTの会計および職務執行を監査する。

第8条（理事等の選任方法について）

1. 理事の選任は、任期満了2ヶ月前に全社員会員に対して社員総会の議決権行使書（投票用紙）を郵送する方法により行う。投票は立候補者の中から11名不完全連記無記名式とする。ただし、便宜上、投票用紙には立候補者の氏名をあらかじめ印刷しておき、○をつける形式とする。
発送後2週間で締切り（当日消印有効）、監事立ち合いの元に開票を行う。得票数同数で11名を超える場合は、理事経験のない者を優先し、全員経験がない場合は年長者を優先する。
当選した者は、郵送により全社員会員に通達する。当選した者は、その後、最初に行われる社員総会の承認を得て新理事となる。
2. 新理事長候補は新理事の自薦、他薦により受け付ける。
新理事長候補の受付は、新理事の発表後3週間の期間をもって、所定の用紙にて郵送により受け付ける。
受付終了後、メールにより全社員会員に新理事長候補を発表する。
3. 理事長候補者発表後、2週間の周知期間を置く。
（立候補の取り下げは、この期間に行うことができる。）
4. 1.の選任の効力発生後最初に行われる理事会にて、新理事長は新理事の過半数をもって決定する。
1回目で過半数にならない場合は、得票数上位2名の候補で出席新理事による再投票を行い、過半数の票を獲得した者を新理事長とする。それでも決定しない場合は、理事長経験のない者を優先し、全員経験がない場合は年長者を優先する。
5. 4.の理事会に欠席の新理事は、予め事務局へ郵送で新理事長候補から新理事長を投票する。

第9条（理事会）

1. 理事会は、すべての理事をもって構成し、JISART定款28条所定の業務を行なう。

2. 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、出席理事の過半数をもって行なう。可否同数の場合には、当該議案は否決されたものとして取り扱われる。
3. 理事長は、JISARTの業務執行の適切な遂行の上で、幅広い会員の意見を聴取することが必要であると判断した場合には、理事ではない会員の理事会への参加を求めることができる。この場合において、理事会に参加した理事以外の者（「参加会員」という。）は、質疑に参加し、意見を述べることはできるが、理事会での議決権は有しない。
4. 理事会において、JISART会務上の重要事項について社員総会の決議を経る必要がある旨決議された場合には、理事長は社員総会を招集して、当該事項について付議しなくてはならない。

第10条（委員会）

JISARTには以下の委員会・部会を置くほか、理事会の決議に基づいて、その他の委員会等を設置することができる。

1. 生殖技術認定委員会(Reproductive Technology Accreditation Committee, RTAC)
会員施設がJISART実施規定に適合しているか、それを順守しているかの審査を実施するための委員会で、委員長は理事会で選任される。
2. 職種部会
職種ごとの活動の推進、施設間交流を図るために設置する。医師、看護師、エンブリオロジスト、カウンセラー、受付の各部会を設置する。
各部会に1名の部門長をJISART教育セミナーにおいて選任する。部門長の任期は2年とし、再任を妨げない。
3. 倫理委員会
JISART会員医師が行う生殖医療に関する医学研究および臨床応用に当たっての倫理的側面を検討するために、JISART倫理委員会を設置する。倫理委員会における判定結果は申請者名と結果のみ理事会に報告される。但し、審査結果が会員全体に関する場合には別途、JISART倫理委員会内規に定めるとおりとする。理事会は倫理委員会の意見を聞き、公表の内容及びその是非を検討し決定する。
4. 非配偶者間生殖医療委員会
JISARTは非配偶者間生殖医療に関する医療者の専門教育・研修、その他関連事項の検討を行うために、非配偶者間生殖医療委員会を設置する。

当該委員会は、「フォローアップ部会」を設置し、非配偶者間生殖医療実施後、生まれた子どもを含む被提供者家族、提供者家族に対し調査、支援を行う。

第11条（経費）

本会の経費は会費、寄付金および補助金等で賄う。会計年度は毎年4月1日から始まり、翌年3月31日までとする。

第12条（会費）

入会金、社員会員の入会金は入会時に100,000円とする。

年会費、社員会員の年会費は年額1,000,000円とする。毎年1月末日までに、翌会計年度の会費を前納する。ただし、新規入会を認められた会員は、入会時に入会金を納入する。賛助会員、名誉会員の会費は不要とする。

第13条

本規定の改廃は理事会の決議による。

附 則

1. 本規程は、2005年1月1日から実施される。

2005年12月改正

2006年3月改正

2007年3月改正

2008年7月改正

2009年3月改正

2009年8月改正

2011年11月改正

2013年3月改定

2013年8月改定

2013年11月改定

2015年6月改定